

平成21年度

ビジットおきなわ計画

平成21年3月

沖縄県観光商工部

ビジットおきなわ計画とは・・・

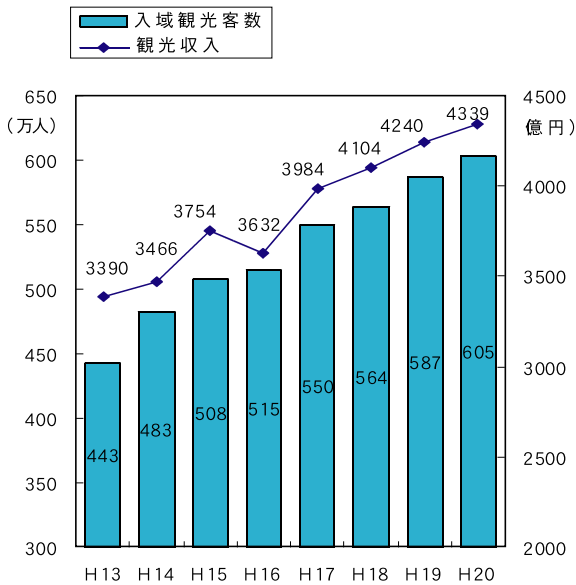
「ビジットおきなわ計画」は、観光客1千万人の誘致を目指し、新たな観光計画として、平成19年度から策定されています。「沖縄県観光振興基本計画」や「沖縄県観光振興計画」のもと、単年度毎の数値目標を設定した、具体的な誘客行動計画として位置づけています。

この1年間で、特に重点的に誘客に取り組むマーケット等を定め、それに基づく目標を設定し、実効的な施策展開を定めています。

具体的な誘客施策の展開にあたっては、さらに観光関連業界との連携を密にし、状況の変化に的確に対応をしながら、より効果の高い事業展開を図っていきたいと考えています。

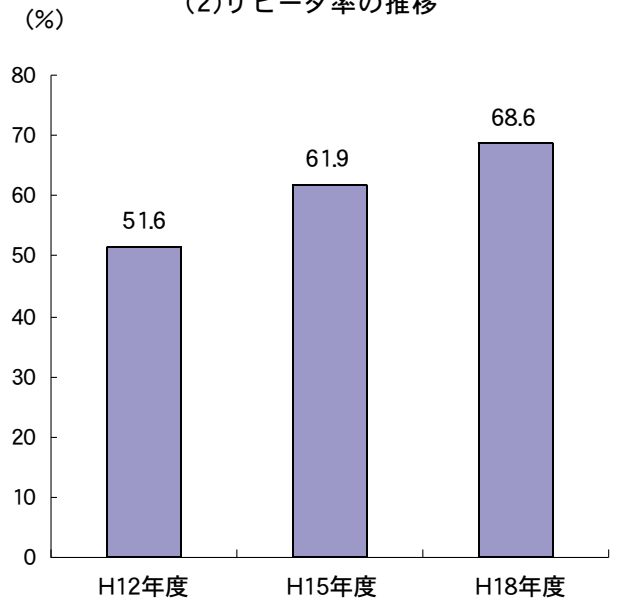
沖縄観光の現況

(1) 入域観光客数と観光の推移



※出典：入域観光統計・観光統計実態調査
 ※平成20年の観光収入は推計値

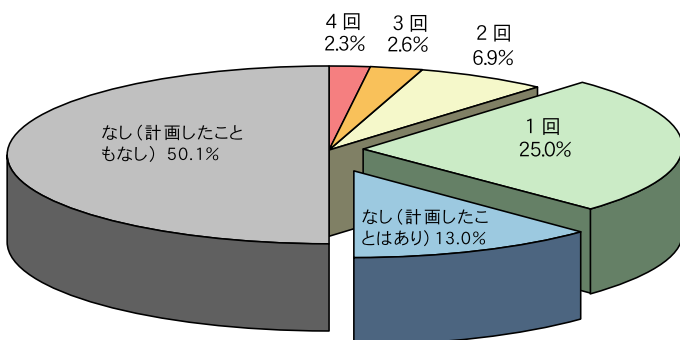
(2) リピータ率の推移



※出典：観光統計実態調査

(3) 沖縄への旅行経験回数

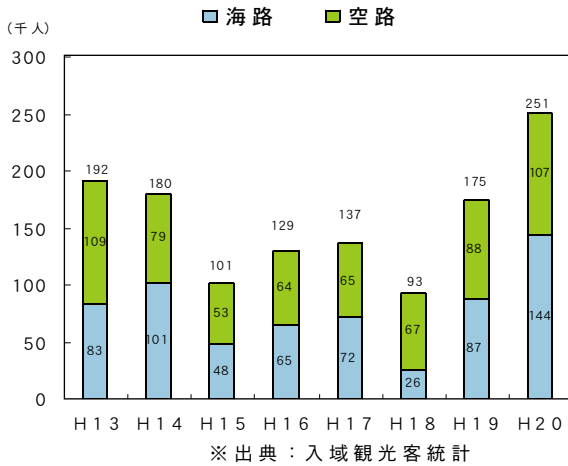
N = 2292



*平成17年度観光統計実態調査(全国消費者アンケート調査)より

- 平成20年の観光客数は約605万人、観光収入は約4,339億円(見込み値)となっている。
- 観光客に占めるリピーター(沖縄来訪が2回目以上の方)が70%近くに達している。
- 一方で、国民の約6割はまだ沖縄を訪れていない。
- うち、以前に沖縄旅行を計画はしたが、まだ来ていない人が13%
- 沖縄への旅行経験が1回のみの方が25%

(4) 外国人観光客の推移



(5) マイス (MICE) の実績について

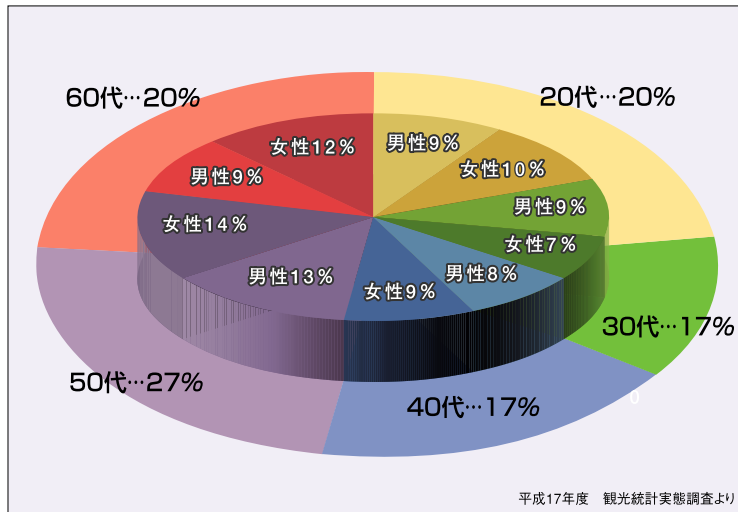
これまでに開催された主な国際会議

- 平成12年 九州・沖縄サミット首脳会合
- 平成14年 科学技術大学院大学国際学術シンポジウム
- 平成15年 第3回太平洋・島サミット
- 平成15年 国連アジア太平洋地域地図学会
- 平成16年 第10回国際サンゴ礁シンポジウム
- 平成17年 第35回日本人工関節学会
- 平成17年 第46回米州開発銀行年次総会
- 平成18年 第4回太平洋・島サミット
- 平成18年 東アジア生物物理学会・日本生物物理学会年会
- 平成19年 第21回太平洋学術会議
- 平成19年 第7回アジア学術会議
- 平成20年 G8科学技術大臣会合
- 2008年電気工学技術国際会議
- 第12回島嶼観光政策フォーラム

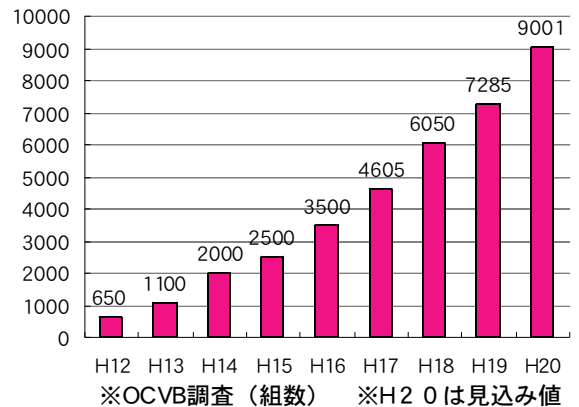
スポーツコンベンション

- プロ野球春季キャンプは、国内外12球団がキャンプ
- 平成19年度スポーツキャンプ・合宿実施状況
野球66件、陸上競技100件、テニス11件、サッカー8件、
武道8件、ソフトボール5件

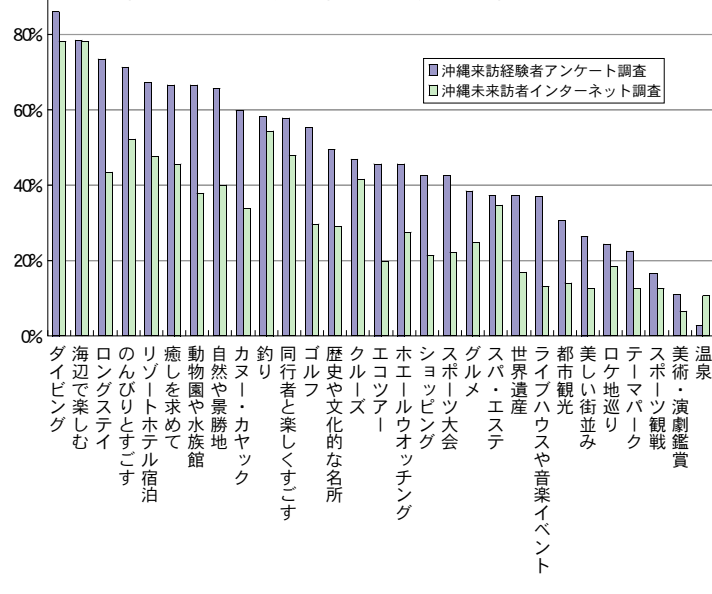
(6) 沖縄未来訪者 (計画したことあり) の年代別シェア



(7) リゾートウエディング挙式組数の推移



(8) 沖縄の魅力の認知度 (沖縄来訪経験者と沖縄未来訪者との比較)



※ 出典：平成19年度観光統計実態調査

- 外国人観光客が少ない (H20:全体の4%)
- 亜熱帯海洋性リゾートの特性を活かしたスポーツコンベンションの人气が高い。
- MICEの実績が伸びてきており、今後とも可能性が高い。
- リゾートウエディングが好調に推移している。
- 沖縄未来訪者で沖縄旅行を計画したことがある人は、50代が多い。
- ロングステイやエコツアーなど、未来訪者に伝わっていない魅力が多い。



今後、これらのマーケットに対する重点的な施策展開を図っていきます。

平成21年度の目標

入域観光客数

630万人

(対前年度見込み比4.5%増)

うち外国人観光客数

30万人

(対前年度見込み比23.0%増)

観光収入

4,851億円

(対前年度見込み比11.8%増)

観光客一人あたりの県内消費額

77,000円

(対前年度見込み比6.9%増)

平成21年度誘客の重点項目

1. 沖縄観光誘客特別対策

景気低迷・円高による観光需要の減少に歯止めをかけ、潜在的なマーケットの掘り起こしを図るため、あらゆる媒体を活用した「沖縄観光キャンペーン」を全国的に展開し、オキナワ観光の魅力発信及びブランド価値を高めます。

2. 外国人観光客の誘客促進

国際的な観光リゾート地の形成を図るため、台湾・韓国・中国・香港の海外重点地における誘客・宣伝活動を戦略的に展開するとともに、欧米地域等についても広域観光を推進しゴールデンルートを活用した誘客促進を図ります。

3. M I C E の誘致促進

付加価値が高く、地域への経済波及効果が高いM I C E（ミーティング・インセンティブツアー・コンベンション・イベント）の誘致を推進します。

4. リゾートウエディングの推進

国内で人気の高い「沖縄リゾートウエディング」の更なる誘客を促進するとともに、海外市場（東アジア）の開拓に努めます。

5. ニューツーリズムの推進

文化体験・参加型観光、フィルムツーリズム、ロングステイツーリズム、エコツーリズムなど、沖縄の特性を活かした新しい旅のスタイルの定着を図り、リピーター客の再訪を促すとともに、シニア層などの安定的なマーケットの拡充を図ります。

主要施策の展開

1. 沖縄観光誘客特別対策

- (1) 首都圏・関西圏・中部圏・九州圏において、「沖縄観光プロモーションイベント」を実施します。
- (2) 新聞、テレビ・ラジオ・インターネット、街頭広告、電車広告等、あらゆる媒体を通じて「沖縄観光キャンペーン」の全国展開を図ります。

2. 外国人観光客の誘客促進

- (1) 海外重点地域である東アジア諸国に係る観光戦略モデルの試行・検証を行うとともに、欧米地域からは、東京・京都・大阪と連携した本土経由(広域ルート)での誘客に取り組みます。
- (2) 航空路線の拡充を図るため、航空会社、政府関係機関への働きかけや、チャーター便の誘致促進に取り組みます。
- (3) 欧米のクルーズ会社に対しトップセールスを行うほか、商談会等への参加を通じてセールスプロモーションを展開します。また、クルーズ船歓迎式典や船内イベントの充実を図る等受け入れ態勢を整備します。
- (4) ウェブサイト「真南風プラス」の外国語版の充実や東アジア諸国の大手検索サイトと連携した特集広告のほか、メディアを活用した広報宣伝や国際旅行博覧会への出展により、沖縄観光の魅力発信を強化します。
- (5) 航空会社・現地旅行社と県内事業者とのマッチングによる旅行商品の造成支援により、魅力ある商品づくりを進めます。

3. MICEの誘致促進

- (1) 企業インセンティブツアーの促進を図るため、旅行会社等とタイアップしたセミナーを国内外で開催するとともに、ツアー支援として芸能アトラクションなどを派遣します。
- (2) 国際会議等の誘致を図るため、キーパーソンの招聘や国際会議見本市等への出展を行います。
- (3) 各種コンベンションの誘致に努めるとともに、本年度開催予定の(社)日本青年会議所「第58回全国会員大会」の開催を支援します。
- (4) 各種スポーツのキャンプ・合宿やスポーツイベントを誘致するためスポーツ施設ガイドブックなどのツールを活用し、各競技団体や有力チームへの働きかけ、競技会場におけるプロモーション活動等を展開します。

4. リゾートウエディングの推進

- (1) パンフレット、DVDの作成、ウエディングフェアの開催等積極的なプロモーションにより「沖縄リゾートウエディング」の魅力を発信します。
- (2) ウエディング業者とタイアップし、県外旅行会社向けのウエディングセミナーを開催し、商品販売をサポートします。
- (3) 海外からの誘客を促進するため、東アジア（香港）で開催される展示会に出展し広報宣伝に努めます。
- (4) 「沖縄リゾートウエディング」の新たな魅力を促進するため、関連業界との連携を図り、受け入れ体制の充実・整備を図ります。

5. ニューツーリズムの推進

- (1) オフシーズンの誘客拡大を図るため、エイサー、ハーリー、沖縄音楽などの独自の文化の観賞及びイベントに参加できる旅行商品の開発など、地域文化の観光資源化に取り組む市町村を支援します。
- (2) 映画やテレビドラマのロケ撮影地を観光資源として活用したフィルムツーリズムを推進するため、ロケ地マップやロケ地ガイドDVDを制作し配布するとともに、映画やテレビドラマの制作とタイアップした誘客プロモーションを展開します。
- (3) ロングステイツーリズムの充実を図り、シニア層などのマーケットを拡充するため、ビーチウォーキングやスパなど、エビデンス（科学的効果）が確立されたメニューを活用した新たな健康保養型旅行を促進します。
- (4) 沖縄の自然や独自の歴史・文化などに、より深く触れることができる良質なエコツーリズムメニューを内外へ情報発信することにより、新たなマーケットの開拓や、リピーター客の再訪促進に努め、沖縄観光の安定的なマーケットの形成を促進します。

6. 幅広いマーケットへの取り組み

(1) 修学旅行の誘致

修学旅行誘致説明会の開催や、キーパーソンを通じた幅広い誘客など、現地関係者と連携し、効果的な誘致活動を目指します。

また、多様な教育目的や要望に対応できるよう、受入メニューの充実を図り、受入体制の整備に努めます。

(2) 離島観光の促進

離島を題材にした映画のロケ地めぐりや、修学旅行離島メニューの開発により、若年層を対象にした離島への誘客を図ります。

また「アニバーサリー婚」の目的地としての沖縄をPRするとともに、沖縄本島・宮古・八重山を周遊するフェリーチャーターでの旅行社招聘及び熟年カップルモニターツアー等を実施することで、熟年層を対象にした離島への誘客を図ります。

7. 観光の受け入れ体制の整備

(1) 高度な観光人材育成の推進

沖縄観光の次代を担う人材を育成するため、欧米の観光専門大学への留学支援制度を創設するとともに、経営環境の変化に的確に対応できる経営スキルの向上を図る経営者セミナーなどの充実を図ります。

(2) 観光まちづくりの推進

市町村、民間団体、圏域等との意見交換会を実施し、地域の観光振興の方向性及び課題等を確認するとともに、今後の取組について協議を行います。

また、地域における課題等を整理し、観光まちづくりに向けた取組状況を踏まえ、沖縄県観光・リゾート・コンベンション推進本部において、県が支援すべき内容等について検討を行います。

併せて、市町村による観光圏整備計画の作成を支援します。

(3) 持続可能な観光地づくりの推進

自然環境等の保全に配慮した観光地づくりを促進するため、市町村公募により、計画の策定や、保全活動等の取り組みに対する支援を行います。併せて、環境に配慮した観光地のトイレ・シャワー、木道等の利便施設の整備に対する支援を行います。

また、観光資源の保全と観光振興を調和させるため、観光受入容量の調査研究を実施し、持続可能な観光振興を図ります。

主要な観光関連予算

1. 観光緊急経済対策事業（21年2月補正）	232,861（千円）
2. 沖縄観光特別対策事業（新規）	305,255（千円）
3. 観光誘致対策事業	194,502（千円）
4. 戦略特化型観光客誘致重点事業	42,082（千円）
5. M I C E 誘致・開催推進事業	28,949（千円）
6. 沖縄型ニューツーリズム形成促進事業	24,511（千円）
7. 海外観光魅力発信強化事業	25,645（千円）
8. 文化資源活用型観光戦略モデル構築事業（新規）	87,235（千円）
9. 国際観光戦略モデル事業（新規）	75,186（千円）
10. 高度観光人材育成モデル事業（新規）	17,917（千円）
11. 沖縄観光商品開拓支援事業（新規）	18,000（千円）
12. 新観光情報サイト構築事業（新規）	40,000（千円）
13. 観光圏等受入体制整備支援事業（新規）	4,800（千円）
14. 持続可能な観光地づくり支援事業	140,547（千円）



沖縄県 観光商工部 観光企画課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL : 098-866-2763 FAX : 098-866-2767
URL:<http://www3.pref.okinawa.jp/sait/view/cateview.jsp?cateid=233>
※この冊子は、2,000部作成しました。印刷費用は、93,450円でした。

